



## ごあいさつ

社会福祉法人 東大阪市社会福祉協議会

会長 江浦 保

東大阪市ボランティア基金チャリティー事業は、今回をもちまして、第12回目を迎えることができました。これも、ひとえに本事業の趣旨をご理解いただき、協力券を購入いただきました皆さま、協賛広告をいただきました企業の皆さま、企画・運営に携わっていただきました委員ならびにボランティアの皆さまのご厚情の賜物と、心よりお礼申し上げます。

「東大阪市ボランティア基金」は、ボランティア活動を将来にわたって安定的に推進していくことを目的に平成元年に設置されました。これまで、皆さまからいただいた寄付金を基金の原資として積み立て、その運用益を活用し、ボランティアの育成や研修、情報提供などを継続して行ってまいりました。また、ボランティア基金の更なる啓発と増資を目的に、平成8年からチャリティー事業を実施してきました。

ボランティア基金に対する皆さまのご理解とご協力により、地域での心のつながりやボランティア活動の輪が広がってきております。今年は特に「平成30年大阪府北部地震」「平成30年7月豪雨災害」が発生し、被災地でのボランティア活動が大いに注目されております。今後も、災害時をはじめ、平常時でもボランティア活動にご理解を賜り、格段のご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

なお、一昨年に引き続き、今回も布施ラインシネマの協力のもと、「チャリティーシネマフェスティバル」を開催することとなりました。皆さま、個人でも、お誘い合わせの上、映画鑑賞をお楽しみください。



## ごあいさつ

ボランティア・市民活動委員会

委員長 田中 勝治

第12回東大阪市ボランティア基金チャリティー事業の実施にあたりまして、お礼のご挨拶を申し上げます。地域の役員をはじめ、ボランティア、関係団体の皆さま、ご支援・ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、今年は、「平成30年大阪府北部地震」や、「平成30年7月豪雨災害」が発生し、歴史に残る猛暑が続いている中、被災地で災害ボランティアセンターが開設され、多くの方々が被災現場に駆けつけボランティア活動を行いました。日本各地でも、街頭での義援金の募金活動やさまざまな窓口への募金箱の設置など、多くの方々がボランティア活動に参加されました。

特に、災害時支援を必要とする高齢者・障害者等への支援活動など、公的支援だけでは補いきれない課題が増加するなか、ボランティアへの期待も高まり、改めて人と人との絆や、地域とのつながり、ボランティアの輪の大切さが見直されています。

東大阪市においても、ボランティア意識の醸成、及びボランティア活動を通じて「助けあう・支えあう・ふれあいのまちづくり」をより一層、進めてまいりたいと考えております。

今後とも、ボランティア活動に更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今回も、一昨年に引き続きチャリティーシネマフェスティバルを開催いたします。皆さま、どうぞ楽しいひとときをお過ごしください。